
第 86 期 (2008 年度) 事業報告書

技術と社会部門：部門長 吉田敬介，他 31 名，運営委員会 2 回，総務委員会 5 回開催

- 1) 総務委員会の下に設置された 7 委員会，6 専門委員会および機械遺産委員会（2008 年 10 月 1 日設置）で部門運営にあたった。
- 2) 部門講演会を 2008 年 9 月 20 日に北九州市の西日本工業大学小倉キャンパスで開催した。
- 3) 部門見学会を 9 月 21 日に北九州市で開催した。
- 4) 部門主催の国際会議「The 4th International Conference on Business and Technology Transfer (ICBTT2008)」を 12 月 4 日から 6 日まで，アメリカ合衆国 Delaware 州 Wilmington 市の Hagley Center で開催した。
- 5) 2008 年度年次大会（横浜国立大学）において，OS7 件（部門単独 5 件，他部門等と合同の 2 件），WS7 件（部門単独 3 件，他部門等との合同 4 件）を企画・開催した。また，部門内に設置された「人機能支援の工学研究会」および「ブルネル研究会」による市民対象行事として，それぞれ講演会および展示会を行った。
- 6) ブルネル研究会による講演会を企画し，4 月 6 日および 10 月 1～3 日の 2 回開催した。また，後者においては，シンポジウムも開催した。
- 7) 人機能支援の工学研究会を 10 月 31 日に開催した。
- 8) 技術倫理委員会を 2008 年 11 月 7 日に開催し，「若手技術者のための技術者倫理セミナー 2008」2008 年 11 月 15 日に開催した。第 2 回委員会を 2009 年 1 月 5 日に開催した。
- 9) 知的財産権委員会を 2008 年 9 月 3 日および 12 月 16 日に開催した。
- 10) イブニングセミナーを 11 回開催した。
- 11) 部門賞について審議し，部門業績賞 1 件を贈賞した。
- 12) 部門ニュースレター No. 20 を 2007 年 12 月 31 日，No. 21 を 2009 年 2 月 29 日（予定）にホームページ上で発行した。
- 13) 日本機械学会論文集 C 編 2008 年 10 月号（第 74 巻第 746 号）に「機械技術史・工学史，機械遺産」小特集号を企画・刊行した。巻頭言 1 件，研究展望 2 件，論文 12 件を掲載した。
- 14) 会誌 8 月号「機械工学年鑑 第 22 章」に 1 頁の追加配分を受け，執筆分担を行った。
- 15) 8 月 7 日の「機械の日」に横浜市開港記念会館で開催された 2008 年度機械遺産認定式典において認定遺産 6 件を報告し，開催に協力した。
- 16) 本会の機械遺産候補を選定するため，部門に機械遺産委員会を設置し（10 月 1 日），2009 年度選定作業のための会議を 4 回開催した。
- 17) 関東支部講演会に部門として参加し，OS「技術教育・工学教育」および「機械技術史・工学史・機械遺産」を企画・開催した。
- 18) 2008 年 3 月 19 日に九州大学で開催された九州支部総会講演会に部門のセッションを設け，11 件の講演を行った。
- 19) 日本設計工学会との共催で，「高校生のための研究成果発表会」を 12 月 13 日に東京都品川区の都立産業高専で開催した。
- 20) 日本産業技術教育学会主催の「第 11 回「技術教育創造の世界」事業，「エネルギー利用」技術作品コンテスト」の開催を後援した。
- 21) 玉川大学で 2008 年 12 月 20 日および 21 日に開催された「新エネルギーコンテスト」に部門から審査員を派遣した。

〔所属研究会〕

A-TS 20-12 ブルネル研究会（その人と技術史）

主査：佐藤建吉 開催：3 回

A-TS 20-14 人機能支援の工学研究会

主査：高田 一 開催：1 回